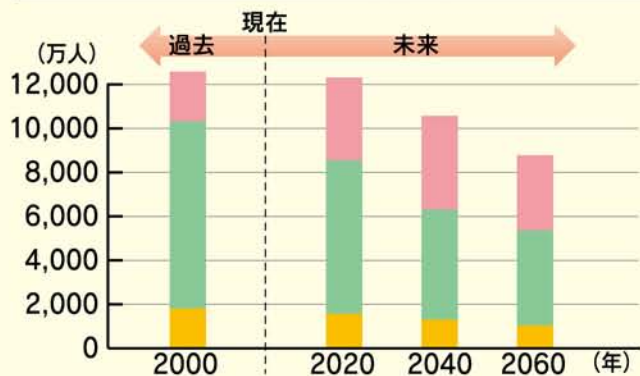


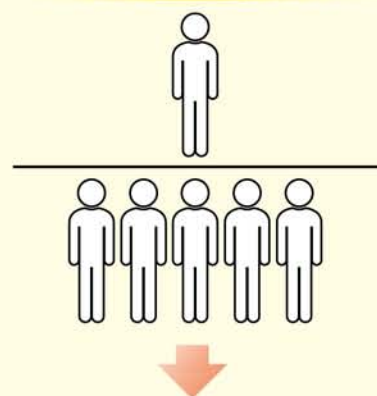
日本の人口推移



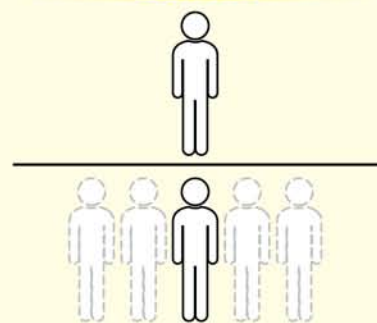
■ 65歳以上
■ 15歳～65歳未満
■ 14歳以下

出典：総務省「国勢調査」および「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成24年1月推計）「出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在）、厚生労働省「人口動態統計」より改変

1990年



2060年



現実となった 人口減少社会

日本の人口は2008年にピークを迎え、1億2808万人でしたが、以後少しずつ減り始め、2015年国勢調査では1億2709万人となりました。人口減少は加速し、今から40年後の2060年には8674万人にまで減少すると予想されています。

65歳以上の高齢者1人を支える現役世代の人数は、1990年では5人だったのが2060年には1人になると予想されています。

地域での支え合い

このような人口減少社会の問題に立ち向かうべく、市内では住み慣れた地域で暮らし続けるため、支え合いの仕組みづくりが始まっています。住民同士が支える側、支えられる側に分かれるのではなく、誰もが支え合うまちづくりを目指しています。

実は地域の中には、すでにいろいろな支え合いがあります。

広がる 支え合いの輪

ゴミ出し応援などご近所同士のお手伝いや見守り訪問活動などは、比較的分かりやすい「支え合い」です。他にも、お互いの元気作りにもなるサロン活動や（P4参照）、青パトによるパトロール活動も住民による安全の見守り活動です。さらには校区のお祭りなども、お互いの顔の見える関係づくり、という面で見れば、支え合いの仕組みづくりのひとつといえます。

私たちの暮らしの中にある支え合いを見つめ直し、地域の強みを活かしながら、自分たちの地域にはどんな支え合いが必要だろうかという話し合いが各校区で始まっています。それが支え合い推進会議です。



支え合い推進会議 取り組み開始校区一覧

開始年度	校区名
H28	金島・合川・西国分・三浦・青峰
H29	山本・山川・京町・安武・大善寺・草野
	津福・荘島・善導寺・宮ノ陣・小森野 金丸・北野
H30	大橋・水縄・日吉・青木・浮島・田主丸・上津

(H30年12月20日現在)

写真①/住民による安全の見守り活動
写真②/お互いの元気作りになっているサロン活動
写真③/道に出た草木が危ないためボランティアが剪定
あなたの暮らしている町にも、こうした支え合いが行われているかもしれません。